

■小林多喜二 小説家。「蟹工船」が世界的な反響、プロレタリア作家の地位確立まもなく、逮捕・拷問・虐殺された。

こばやし たきじ

日比谷公園・1903＝ 秋田県の没落した農家に生まれた。

日露戦争終・1905＝ 2歳：

韓国反日暴動1907＝ 4歳：伯父のすすめで、一家をあげて小樽に移住。

明治天皇没・1912＝ 9歳：

民本主義・・・1916＝13歳：伯父のパン工場で働くことを条件に、庁立小樽商業学校に入学。

＿在学中、校友会誌に何度も文が載る。詩や短歌を投稿したり、水彩画の出品をする。

原敬首相暗殺1921＝18歳：伯父の援助で小樽高商に進む。＿自分の作品を回覧し、投稿した短編小説が佳作になる。

水平社結成・1922＝19歳：\*{文章倶楽部}に投稿した「兄」が当選。トルストイ、ドストエフスキー、ゴーキーなどを読み、また志賀直哉に私淑しつつ作家の道を志す。

関東大震災・1923＝20歳：＿{新興文学}に「健」「蕨入」が当選。

護憲三派圧勝1924＝21歳：卒業、北海道拓殖銀行に就職。仲間と{クラルテ}を創刊し作品を発表。父が死去。酌婦田口タキを知る。

治安維持法・1925＝22歳：大金を工面して、タキを解放。＿作品を次々と発表。

円本時代始・1926＝23歳：一時タキと同棲するが、タキは自立を求めて家出。＿労働運動にかかわり、プロレタリア文学運動に参加。

金融恐慌・・・1927＝24歳：＿社会科学を学び、労働争議を応援。前衛芸術家同盟に参加。

共産党事件・1928＝25歳：\*三・一五事件直後、全日本無産者芸術連盟(ナップ)が成立したが、その機関誌{戦旗}に「一九二八年三月十五日」を発表して注目される。

世界恐慌・・・1929＝26歳：\*ついで「蟹工船」が世界的な反響と評価を受け、革命的リアリズムの作家として地位を確立。「不在地主」、

海軍軍縮条約1930＝27歳：＿「工場細胞」を書き、上京。プロレタリア作家同盟役員、共産党员として活躍。

満州事変・・・1931＝28歳：

五一五事件・1932＝29歳：＿「転形期の人々」、

国際連盟脱退1933＝30歳：\*地下に潜って「党生活者」「地区の人々」など、革命運動の発展を描いた力作の制作に心血を注いだ。この年逮捕され、特高警察により拷問・虐殺された。